

項目別評価

大項目1. 府民に提供するサービスその他の業務の質の向上

評価：A

1 高度専門医療の提供及び医療水準の向上

小項目数	V	IV	III	II	I
16	0	1	15	0	0

(1) 府の医療施策推進における役割の発揮 (小項目①～⑧)

【急性期C】
大阪府共同 住吉母子医療センターのオープンに向けた周産期医療の充実等を行った。
【はびきのC】
アレルギー性疾患に対する専門医療等を提供した。
(重症アトピー性皮膚炎処置件数 H29目標:8,000件 ⇒ H29:11,174件)
【精神C】
民間医療機関において処遇が困難な患者の受入れや、発達障がい診断初診を実施した。
【国際がんC】
あらゆるがん患者に対し、手術、放射線治療、化学療法などを組み合わせた最適な集学的治療を実施した。
【母子C】
小児がん拠点病院としての取組みや長期療養児に対するケアを実施した。また、重症妊婦・病的新生児の受入れに努めた。(母体緊急搬送受入件数 H29目標:200件 ⇒ H29実績:232件)

(2) 診療機能充実のための基盤づくり (小項目⑨～⑩)

医療機器の整備や大規模施設設備改修について、計画の項目を着実に実施し、各病院における高度医療機器の稼働状況が目標を上回った。

(3) 府域の医療水準の向上 (小項目⑪～⑬)

地域医療機関を対象とした研修会の開催など、各病院において地域連携の強化に積極的に取り組むとともに、国際がんCにおける連携登録医数が目標を上回った。(H29目標:210件 ⇒ H29実績:262件)

(4) より安心で信頼できる質の高い医療の提供 (小項目⑭～⑯)

各病院においては、クリニカルパスの活用による医療の標準化に取り組み、適用率は4病院で目標を達成した。また、急性期CにおけるISO9001の認証取得(形成外科、QMS評価室)など、計画を着実に実施した。

2 患者・府民の満足度向上

小項目数	V	IV	III	II	I
4	0	0	4	0	0

(1) 患者満足度調査等の活用及びホスピタリティの向上 (小項目⑰)

患者サービス向上のため、イベントの開催や接遇研修の実施、NPOによる院内見学等の取組を機構全体で推進した。

(2) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善 (小項目⑱～⑲)

呼び出しサービスの導入など、待ち時間の負担を軽減する取組を着実に実施した。また、手術件数(精神C除く)の増加に向けた取組を実施したことにより、3病院が手術件数の目標を上回った。
【急性期C】H29目標:8,300件⇒H29実績:8,398件 【はびきのC】H29目標:1,980件⇒H29実績:2,460件
【国際がんC】H29目標:4,005件⇒H29実績:3,929件 【母子C】H29目標:4,200件⇒H29実績:4,447件

(3) ボランティア等との協働 (小項目⑳)

手話及び通訳ボランティアの利用実績は5病院全体で前年度を上回り、また、各病院において多様なボランティアを受け入れた。(手話 H28:2,765件 ⇒ H29:2,844件)(通訳 H28:1,098件 ⇒ H29:1,260件)

大項目2. 業務運営の改善及び効率化

評価：A

1 組織体制の確立

小項目数	V	IV	III	II	I
3	0	0	3	0	0

(1) 組織マネジメントの強化 (小項目㉑)

機構全体で医療面及び経営面における改善に取り組むとともに、各病院においては自律的な病院運営に取り組んだ。また、事務部門の強化に向けた取組を実施するなど、組織力の強化を計画的に取り組んだ。

(2) 診療体制の強化及び人員配置の弾力化 (小項目㉒)

各病院間での兼任・研修体制を継続するとともに、はびきのCにおける診療科の設置を計画どおり実施した。

(3) コンプライアンスの徹底 (小項目㉓)

コンプライアンス研修の実施等、機構全体でコンプライアンスの徹底に取り組むとともに、第三者による監査を計画どおり実施した。また、カルテ開示の際は規程に基づいて対応するなど、個人情報の適切な管理に取り組んだ。

2 経営基盤の安定化

小項目数	V	IV	III	II	I
6	0	0	6	0	0

(1) 効率的・効果的な業務運営・業務プロセスの改善 (小項目㉔)

計画と比較して、医業収入は増加、医業支出は減少し、資金収支差は計画を大きく上回る22.1億円であった。(H29目標:17.0億円 ⇒ H29実績:22.1億円)

(2) 収入の確保 (小項目㉕～㉖)

病床利用率は目標を下回った病院が多かったものの、新入院患者数は全病院で目標を上回るなど、各病院で患者の受入れに取り組んだ。また、診療単価の向上のため、施設基準の積極的な届出、診療報酬の研修を実施した結果、各病院の診療単価が前年度を上回った。

(3) 費用の抑制 (小項目㉗～㉘)

後発医薬品の採用促進等、材料費の縮減のための取組み等について、年度計画の項目を着実に実施した。

全体評価

大項目1「府民に提供するサービスその他の業務の質の向上」については、高度専門医療の充実など医療の提供体制の強化に努めるとともに、府域の医療水準の向上を目指し、地域医療機関との連携強化を推進するなど、年度計画を計画どおり実施している。

大項目2「業務運営の改善及び効率化」については、業務運営の改善及び効率化に向け、機構全体の経営マネジメントの強化を図りながら、収入の確保・費用の抑制など安定的な病院経営の確立に取り組んでおり、年度計画を計画どおり実施している。

評価結果⇒「全体として年度計画及び中期計画のどおり進捗している」